

平成23年度 一般会計予算

53億7,500万円

3月定例議会で、平成23年度予算が可決されましたので、その概要をお知らせします。

日本経済は企業収益が改善し、家計所得にも底堅さがみられるようになりましたが、新卒者・若年者の厳しい雇用情勢が続く等デフレ終結に向けた経済の基盤は未だ脆弱であり、景気の先行きには円高や海外経済の減速といった下振れの懸念もあり、民間需要を中心とした自立的な景気回復には至っていない状況にあります。

23年度予算は、こうした国の動向、地方財政計画等を勘案しつつ、終始最大限の財源確保に努める中での編成となりました。また、第4次八百津町総合計画及び第3次行政改革大綱に沿った行財政基盤の確立に務め、閉塞感が漂うことなく住民ニーズの優先度を測り、可能な限り皆様の期待に応えることを目標に経費の節減、合理化に努めた効率的な予算編成を行いました。

八百津町の一般会計においては、前年度の和知・錦津小学校学校施設整備事業や、給食センター設備整備事業等が終了いたしました。新たに錦織住宅の下水整備や中央公民館改修事業、中山消防詰所の整備事業、更に昨年7月災害における復旧事業により投資的経費の増加。また、予防接種費や健康増進事業、子ども手当費や生活介護・施設入所支援等の利用者増による物件費や扶助費の増額の他、学校支援員の増員、安心安全な妊婦支援、女性特有のがん検診の実施など、福祉・教育・少子高齢化等に対応するための予算を重点的に配分した結果、前年度対比1億7,000万円（3.3%）増の予算としました。

歳入

一年間のすべての収入(一般会計)

皆さんの税金や国からの地方交付税が代表的なものです。

町民一人あたりが支払う税金 (H23.4.1現在の人口 12,410人)	
119,173円	
内 訳	固定資産税 64,013円
	住民税 49,017円
	たばこ税 3,747円
	軽自動車税 2,396円

【用語の解説】

自主財源
町の条例などに基づき独自に収入するもの
依存財源
主に国や県から交付されるもの
地方交付税
国から財政力に応じて交付されるもの
繰入金
基金などから現金を取り崩して入れるもの
繰越金
前年度余剰金のうち財源として予算化するもの
町債
事業などの財源として借り入れる長期借入金

